

いちご一會とちぎ国体

第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

冬季大会：令和4（2022）年1月24日（月）～30日（日）

本大会：令和4（2022）年10月1日（土）～11日（火）

いちご一會とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

令和4（2022）年10月29日（土）～31日（月）

いちご一會とちぎ国体・とちぎ大会 実行委員会

第5回 総会



令和5（2023）年3月22日（水）
栃木県総合文化センター メインホール

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 第5回総会 目次

1 報告事項		
報告事項 1	国体・障スポの成果	P. 3
報告事項 2	いちご一会とちぎ国体の成績概況と今後の取組	P. 16
報告事項 3	いちご一会とちぎ大会の結果と今後の取組	P. 19
報告事項 4	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 役員及び委員等の変更	P. 22
2 審議事項		
第1号議案	令和4(2022)年度 事業報告(案)	P. 25
第2号議案	令和4(2022)年度 補正予算及び収支決算見込(案)	P. 33
第3号議案	令和4(2022)年度収支決算承認の会長への委任(案)	P. 36
第4号議案	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会の解散及び会則の廃止について(案)	P. 37
3 感謝状贈呈		
	・感謝状被贈呈者一覧	P. 41
	・感謝状記念品について	P. 43
4 参考資料		
(1)	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 実行委員会 役員名簿	P. 47
(2)	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 実行委員会 名簿	P. 48
(3)	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 実行委員会 会則	P. 54
(4)	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 実行委員会 組織図	P. 59

報 告 事 項





国体・障スポの成果



1 両大会の開催概要

1 開催概要

	いちご一会とちぎ国体 	いちご一会とちぎ大会 
開催期間	(冬季大会) 1月24日(月) ~ 30日(日) 7日間 (本大会) 10月1日(土) ~ 11日(火) 11日間 <会期前> 9月10日(土) ~ 19日(月) 10日間	10月29日(土) ~ 31日(月) 3日間
参加者数	393,963人	63,933人
	総数 457,896人	

2 経済波及効果

■ 経済波及効果推計結果 ※平成27年栃木県産業連関表を用いて推計。



支出合計 (需要増加額)	経済波及効果 (全体)	内 訳		
		直接効果	間接効果	
			第1次波及効果	第2次波及効果
92,663 百万円 ①施設整備費 65,223 ②大会事業費 17,662 ③参加者消費支出 9,778	118,335 百万円	83,233 百万円	19,237 百万円	15,864 百万円

2 新型コロナウイルス感染症対策の取組

1 基本的な考え方

短期間に全国から参加者が集結する両大会は、高いレベルの感染防止対策を実施する必要があるという主催者間の共通認識のもと、選手等が安全安心に参加できる環境の整備に取り組みました。

2 対策の内容

(1) 感染防止対策ガイドラインの策定

競技会における各主体の役割分担や参加者が遵守すべき事項、実施が望ましい標準的な感染防止対策をとりまとめ、「感染防止対策ガイドライン」を策定しました。

(2) 参加条件の設定・PCR検査等の実施

全ての参加者に大会参加日の14日前から検温や健康状態及び行動歴等の記録を求めるとともに、選手団や競技運営スタッフ等に対して大会参加前のPCR検査を義務付けるなどの参加条件を設定しました。

また、会期中においても、引き続きの健康観察や抗原定性検査を実施し、感染リスク低減と安全性の向上を図りました。

○PCR検査の実施件数（冬季大会を含む）

選手団：約4万件、競技役員・運営スタッフ等：約3.8万件

2 新型コロナウイルス感染症対策の取組

(3) 会場への入場制限

両大会開催時期の感染状況が見通せず、コロナ禍で大勢の観客を入れての開催実績やノウハウが十分でない中で、安全安心な大会運営を行うため、収容定員の50%による有観客での開催としました。



競技会場の観覧席

(4) 会場内におけるゾーニングの徹底

選手等関係者と一般観覧者等の動線を分離し、検査実施者と未実施者の接触を避け、会場内の利用場所を区別するなどゾーニングを徹底しました。



競技会場受付の様子

3 対策の結果

これらの取組を行った結果、選手団における会期中の陽性者発生は全大会を通じて9人に抑えることができました。

(冬季大会：1人、本大会：6人、障スポ：2人)

3 環境に配慮した取組

環境先進県として、「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言を行い、「メイド・イン・とちぎ」の環境配慮製品を積極的に活用し、運営の中では様々な環境配慮に取り組みました。

1 再生可能エネルギーの最大限活用

大会運営に県営水力発電所で発電したCO₂フリーの「とちぎふるさと電気」を使用したほか、環境PRブースの運営にEV・FCV自動車から電力を活用しました。



2 電子化による紙類使用の削減

「観戦ガイドブック」や「総合プログラム」などを電子化したほか、発行部数を見直すなど、紙の使用を大幅に削減しました。



3 代替素材によるプラスチック類の不使用

賞状持ち帰り用の袋や弁当容器をプラスチックから紙に変更したほか、バイオマス配合プラスチックの資料袋や応援グッズを使用しました。



4 リサイクル素材によるプラスチック使用削減

県内企業の技術力を活用し、ペットボトルの再生素材で本県選手団ユニフォームや運営スタッフベストなどを制作しました。



5 ごみの分別徹底・資源循環の促進

県民の皆さんから集めた衣料品をハンドタオルに再生し、応援で使用する「県民参加プロジェクト」のほか、競技会場周辺でスポーツGOMI拾い大会を行いました。



6 市町における環境配慮の取組促進

地元環境関連企業等のPRブース設置や、再生PET素材を使用したスタッフベスト等の調達など、市町独自の環境配慮の取組を支援しました。



3 環境に配慮した取組の成果

851t



再生可能エネルギー電気使用によるCO₂削減量



104台

EV/FCVの使用台数(のべ)



1,780万枚

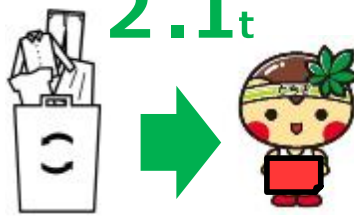
パンフレットなどの電子化による紙媒体の削減量

12,654人



スポーツGOMI拾い大会など環境イベントへの参加者数(累計)

2.1t



大会応援用ハンドタオル製作に回収した古着の量

170件



エコ製品・サービスの使用件数

4 日本一のおもてなしの実現

1 基本的な考え方

来県される全ての方々に、とちぎならではの良さを実感していただき、「栃木県に来て良かった」、「また栃木県に来たい」と思っただけのように、本県の魅力・実力の発信と心のこもった温かいおもてなしに取り組みました。

2 おもてなしの内容

(1) いちご一会広場における多彩な魅力発信

両大会の開・閉会式会場である県総合運動公園に設置したおもてなしと魅力発信の拠点となる「いちご一会広場」において、とちぎの特産物の販売や農産物・伝統工芸品のPR、競技体験、大会グッズ販売ブースの開設等を行いました。



(2) 競技会場におけるおもてなし

市町の競技会場では、地元の特産物や郷土料理、銘菓等の提供・販売など、多彩な地域資源を生かした市町ならではの取組により地域の魅力発信に取り組みました。

また、障スポの各競技会場においても、地元の観光協会や障害者就労支援施設による地域ならではの商品の販売やおふるまいを実施し、選手等へのおもてなしを実施しました。

4 日本一のおもてなしの実現

(3) 花いっぱい運動等による温かいお出迎え

学校や地域と協働した花いっぱい運動や環境美化活動を行うとともに、小中高校や特別支援学校の児童生徒による手作り応援のぼり旗の制作・設置、県産材を使用したメッセージカードの作成・配布などにより、選手等を温かくお出迎えしました。



3 取組の結果

本県が誇る多彩な地域資源等を活用し、市町と協働して実施したおもてなしや、県民総参加によるいちご一会運動（県民運動）の全県的な展開などにより、日本一のおもてなしを実現することができました。

○いちご一会広場来場者数（10月1日～11日・29日～31日）	約10万人
○県総合運動公園、競技会場等へのプランター設置数	約2万基
○花いっぱい運動（いちご一会花育て隊）参加者数	約1.3万人
○環境美化活動（いちご一会きれいな街で迎え隊）参加者数	約1.2万人
○国体選手・役員等への記念品（トチノキコースター）配付	約7.8万個

5 県民運動（ボランティア）の取組

1 登録人数

(1) 運営ボランティア

2,287人

(2) 情報支援スタッフ

575人（手話421人・要約筆記(手書き)112人・要約筆記(PC)42人）

(3) 選手団サポーター

1,270人



2 研修会

両大会の概要や活動内容のほか、来県者への接し方や、おもてなしの基礎等を学んでいただきました。

なお、運営ボランティアの方々は、おもてなしのプロである航空会社の現役キャビンアテンダントに直接指導いただきました。



運営ボランティア研修会

3 主な活動内容

(1) 運営ボランティア

開・閉会式会場や駅案内所等において、来場者の受付、会場美化、交通案内、選手等の入退場誘導、弁当配布等を行いました。

5 県民運動（ボランティア）の取組

(2) 情報支援スタッフ

開・閉会式会場や駅案内所等において、聴覚障害のある方への情報提供やコミュニケーション支援を行いました。



(3) 選手団サポーター

いちご一会とちぎ大会において、来県された各県の選手団に帯同し、開・閉会式会場や競技会場の案内、誘導等を行いました。



4 活動実績

多くの県民、企業・団体の皆様に、両大会を通じ、とちぎの魅力を積極的に発信いただくとともに、来県者に温かく丁寧に接していただくことにより、栃木ファンの獲得につながりました。御協力ありがとうございました。

(参加者数)

○運営ボランティア：延べ約2,800人

○情報支援スタッフ：延べ約1,200人

○選手団サポーター：延べ約2,800人



受付・案内



会場美化

6 広報活動

1 主な広報活動

◆広報ボランティアによるPR



・活動実績(R1.8～R4.10)
全55回、延べ1,088人が参加



◆広報誌（いちご一会通信）の発行



◆多様なメディアやイベント等での情報発信



プロモーションムービー



冬季大会総括番組



開催100日前イベント



国体特別番組



障スポ特別番組



国体・障スポ情報発信コーナー

6 広報活動

◆PR広告物



啓発グッズ



県庁本庁舎正面入口



街灯フラッグ



駅構内フロア広告

2 観戦機会の確保

◆国体チャンネル



国体の正式競技の決勝等をライブ配信（一部アーカイブ配信）

・アクセス数（ページビュー数）

本大会：約521万回 冬季大会：約44万回

◆LEDビジョン

- ・県庁県民広場に設置の大型LEDビジョンにて決勝等の映像放映（10/2(日)～11(火)）
- ・応援イベントの実施 10/8(土)



県庁県民広場

7 文化プログラム

文化プログラムは多くの県民の皆様にご文化・芸術活動を通じて両大会に参加いただくことで、開催機運を盛り上げ、県民総参加の大会をめざすとともに、「とちぎ版文化プログラム」のレガシーを継承し、とちぎの魅力ある文化を県内外に発信するため実施しました。

◇実施期間 令和4(2022)年1月1日～12月31日

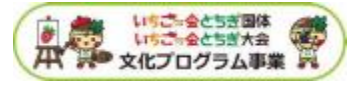
◇登録件数 301件

◇県主催事業

みんなで育む“とちぎのたから”ミュージカル「しもつけ王国物語」

◇主な事業

- ・ 栃木県立博物館 開館40周年記念特別企画展
「鑑真和尚と下野薬師寺 ～天下三戒壇でつながる信仰の場～」
- ・ 栃木県立美術館 開館50周年記念展
「印象派との出会い
－フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション－」
- ・ 全国都道府県対抗eスポーツ選手権2022TOCHIGI



8 募金・企業協賛

1 目標額

総額：5億円

2 募集期間

(1) 募金（寄附金）

平成31(2019)年4月1日～令和4(2022)年10月31日

(2) 協賛金・協賛物品

平成31(2019)年4月1日～令和4(2022)年3月31日

※協賛物品は、令和4(2022)年10月31日まで



3 募金・協賛金の実績

総額：7億4,442万101円

(1) 募金（寄附金）

1億1,327万6,919円

○募金箱設置個数：228個

○寄附者（社）数：個人2,170人、企業・団体382社

○銘板設置枚数：2,353枚（個人：2,006枚、企業・団体：347枚）



大谷石製銘板

8 募金・企業協賛

(2) 協賛金・協賛物品

6億3,114万3,182円

○協力企業・団体数：延べ274社

- ・国体パートナー19社、オフィシャルスポンサー14社、
オフィシャルサポーター67社 等
- ・国体パートナー19社は国体史上最多

※大会特別協賛：1億円（大同生命保険株式会社）



企業PR看板

4 募金・協賛金の使途、協賛特典等

- 募金・協賛金は、両大会における広報活動・機運醸成等の取組をはじめ、来県者へのおもてなしや、環境美化活動などの大会運営経費として活用
- 協賛特典として、開・閉会式会場や競技会場等において、企業PR看板の設置や歓迎のぼり旗への企業名の掲出などにより、協賛企業の広報・PRを実施



歓迎のぼり旗

9 開・閉会式の開催

1 概要

■ 国体

① 総合開会式【10月1日（土）】

○参加者数 17,862人

〔選手団：1,646人 大会関係者：8,914人
観覧者：7,302人〕

○皇室御臨席

天皇皇后両陛下



※3年ぶりの国体開催を祝し『航空自衛隊ブルーインパルス』が祝賀飛行を実施

② 総合閉会式【10月11日（火）】

○参加者数 11,230人

〔選手団：671人 大会関係者：6,654人
観覧者：3,905人〕

○皇室御臨席 佳子内親王殿下

■ 障スポ

① 開会式【10月29日（土）】

○参加者数 13,818人

〔選手団：2,031人 大会関係者：8,111人
観覧者：3,676人〕

○皇室御臨席

秋篠宮皇嗣同妃両殿下



② 閉会式【10月31日（月）】

○参加者数 14,297人

〔選手団：5,562人 大会関係者：6,503人
観覧者：2,232人〕

○皇室御臨席 高円宮妃殿下

<国体・障スポ共通>

先催県においては、これまでプラカードを女性が務めてきたが、本県では、性別を問わずにプラカードを選出



9 開・閉会式の開催

2 3つの特長

① 役員・選手団の演技観覧を実現（国体 式典演技）

これまでの国体では、式典演技を式典前に実施していたため、役員・選手団が観覧できなかったが、式典後に次第を変更したことで、役員・選手団の演技観覧を実現した。

また、役員・選手に丸椅子を用意し、負担軽減を図った。（開・閉会式共通）



式典演技の様子①



カンセキスタジアムとちぎ
(栃木県総合運動公園陸上競技場)

② 国体と障スポ 同内容で演技披露（障スポ 式典演技）

これまで、障スポの式典演技は、国体の内容を縮小して実施していたが、両大会の演技構成を同一にしたことで、障スポの参加者に栃木の魅力をより深く伝えることができた。



式典演技の様子②

9 開・閉会式の開催

2 3つの特長

③ ちりばめられた『とちぎの魅力』（両大会 開・閉会式）

■ 炬火台・炬火台座

【炬火台（※1）】

- 一般公募でデザインを決定
- 県特産の『イチゴ』がモチーフ
- 東日本大震災の時に崩れた塀などの『大谷石』を再利用

【炬火台座】

- 県の戦略3産業である航空宇宙産業の中でも、『人工衛星』をイメージさせる近未来的な形状
- 点火者の足元には『烏山和紙』を挟み込んだパネルを設置

環境配慮

炬火台用燃料の一部に『グリーンLPガス』（※2）を使用



※1 両大会で使用した炬火台は開・閉会式会場となったカンセキスタジアムとちぎのアプローチデッキ付近に展示保存される

※2 県内の家畜ふん尿を活用したバイオガスが原料（協力企業が世界に先駆けて実現させた）

■ 総合成績表彰状（木製額縁含む）※国体のみ

【総合成績表彰状】

- 県指定伝統工芸品である『烏山和紙』で製作

【木製額縁】

- 県産材の『トチノキ』を活用して製作し、県指定伝統工芸品の『日光彫』で装飾
- 額縁の内装にはユネスコ無形文化遺産に登録された『結城紬』を敷布に使用



男女総合成績表彰状

10 競技会運営

1 いちご一会とちぎ国体

① 実施競技

県内25市町及び千葉県千葉市（セーリング競技会）で実施

- 正式競技 39（本大会37、冬季大会2）
- 特別競技 1
- 公開競技 5
- デモンストレーションスポーツ 32

◇セーリング競技会◇

会期：10月2日～5日 会場：千葉市稲毛ヨットハーバー

参加選手・監督：543人 参加艇数：324艇



千葉の海で競技する本県選手

② 競技会参加者数

- 本大会・特別
・公開・デモスポ 363,101人
- 冬季大会 1,770人



剣道競技



ウエイトリフティング競技



バドミントン競技

10 競技会運営

③ 市町への支援

<会場地市町運営交付金>

- ・市町における正式・特別競技会やデモンストレーションスポーツ競技会運営のほか、各競技会場におけるおもてなしや環境に配慮した取組などに対する財政支援

<競技用具整備>

- 県有施設の競技用具を市町へ貸与
ボクシングリング、フェンシングピスト、新体操マット 等
- 後利用が見込めない等の競技用具を県が購入し、市町へ貸与
ボート競技艇、馬術障害物、ライフル射撃電子標的 等



ボート競技艇



馬術障害物

10 競技会運営

2 全国障害者スポーツ大会

① 実施競技 【参加者数 35,818人（正式競技35,413人、オープン競技405人）】

○ 正式競技14（個人競技7、団体競技7）、オープン競技3

県内11市において、正式競技を16会場、オープン競技を3会場で実施

○ ボッチャ、卓球の精神障害区分を初開催

全国障害者スポーツ大会において、とちぎ大会が初めての開催



② 競技付帯サービス

○ コンディショニングルーム、車いす・補装具修理所の設置で選手をサポート

マッサージやストレッチなど筋肉の疲労回復を図るコンディショニングルームと、急な故障等を応急修繕する車いす・補装具修理所を設置

○ 運営は関係団体、関係企業がボランティア協力

コンディショニングルーム（5団体が協力）、車いす・補装具修理所（3社が協力）



陸上競技



ボッチャ



卓球(精神障害区分)



車いすバスケットボール

11 安全・安心な大会運営

1 安全で機能的な会場整備

(1) 開・閉会式会場

安全性、機能性等に配慮するとともに、本県の魅力を発信できる会場を整備

- ・選手等控所、案内所、トイレ、歓迎装飾、サイン看板等の仮設
- ・ロイヤルボックス設置（県産木材、大谷石を活用）

(2) 競技会場

既存施設の活用に努めながら、競技運営に必要な施設を計画的に整備

市町が改修・仮設整備を行う施設については、県が補助

- ・競技会場77施設（県17、市町52、民間8）
- ・市町への財政支援 H29～R4（改修費用の1/2、仮設費用の10/10）



ロイヤルボックス



歓迎装飾



歓迎ゲート

11 安全・安心な大会運営

2 宿舎・輸送手段の確保

(1) 宿舎

選手等が十分な活躍ができるよう、競技団体の要望等を踏まえ、県内外の宿泊施設に客室提供を依頼し、必要な宿舎を確保

- ・ 配宿実績 《国体》 250施設 延べ125,511人（ピーク日12,527人）
《障スポ》 83施設 延べ 27,103人（ピーク日 5,871人）
- ・ 車いす使用者の配宿先は、事前にバリアフリー状況を調査



宿泊・輸送センター

(2) 輸送手段

選手団、観覧者等を安全・確実に輸送するため、バス、タクシー、トラック、鉄道等の交通事業者の協力を得て、必要な輸送手段を確保

- ・ バス等確保実績
《国体》 バス4,389台（ピーク日437台）
《障スポ》 バス2,012台（ピーク日535台）
福祉タクシー 延べ297台 並走トラック 延べ64台
- ・ 交通対策 安全確保・混雑緩和のため、開・閉会式会場周辺の交通規制を実施



バス乗降場

11 安全・安心な大会運営

3 栄養面・衛生面に配慮した食事の提供

(1) 献立集作成・配布

栄養や調理の専門家にアドバイスをいただき、スポーツ栄養に配慮したアスリート向け献立集を作成し、宿舎等での活用を依頼

- ・ 「勝利を目指すアスリートのレシピ」を配布・配信（県産食材を用いた献立例を紹介）

(2) 昼食弁当の提供

県内弁当事業者による献立提案や生産者団体からの食材提供等の協力を得て、県産食材を盛り込んだ昼食弁当を調達し、選手等に提供

- ・ 徹底した衛生管理のもと調理・配送
- ・ 環境に配慮し、紙容器等を使用

式典弁当



「とちぎの星」



献立集

(3) 衛生対策

食中毒防止等に万全を期すため、WEB講習会や保健所による監視指導を実施

- ・ 対象施設 宿泊施設、弁当調製施設等 延べ1,574件

11 安全・安心な大会運営

4 救護所の設置・運営

傷病者発生時の応急処置を行うため、医療関係団体等の協力を得て、開・閉会式会場、競技会場に救護所を設置

- ・医療従事者 延べ269人（医師139、歯科医師10、看護師120）
- ・日赤ボランティア 延べ136人
- ・うっかりドーピング防止 救護所配備薬のチェック



救護スタッフ

5 警備・消防防災体制の整備

事件・事故の防止、災害・テロ等の突発事案に対応するため、警察、消防等と連携し、警備・消防防災体制を整備

- ・警備員配置 ID確認、所持品検査、雑踏警備等を実施



警備員によるID確認

6 馬事衛生対策の実施

馬事衛生の専門家等の協力を得て、馬術競技会における防疫対策や馬の診療・装蹄等を実施

- ・獣医師、装蹄師を配置



馬診療所



皆様より多大なる御協力を賜り、
御礼申し上げます。

ありがとうございました。





「いちご一会とちぎ国体の成績概況と今後の取組」



いちご一会とちぎ国体成績概況

第77回国民体育大会 都道府県別総合成績

<総合成績>

天皇杯（男女総合成績） 2位 2270.5点

皇后杯（女子総合成績） 2位 1092点

第74回茨城大会

天皇杯 18位 1075.5点
皇后杯 26位 551点

男女総合（天皇杯）

順位	都道府県	得点
1位	東京	2436
2位	栃木	2270.50
3位	埼玉	1932.5
4位	愛知	1766
5位	大阪	1737.5
6位	神奈川	1659.5
7位	千葉	1490.75
8位	福岡	1380.5
9位	北海道	1348.5
10位	京都	1332.5

女子総合（皇后杯）

順位	都道府県	得点
1位	東京	1311
2位	栃木	1092
3位	愛知	1027
4位	埼玉	1006
5位	大阪	907.5
6位	兵庫	847.5
7位	岐阜	836
8位	神奈川	820
9位	京都	793.5
10位	千葉	786.5

成績概況

<競技別総合成績 第1位> (全8競技)

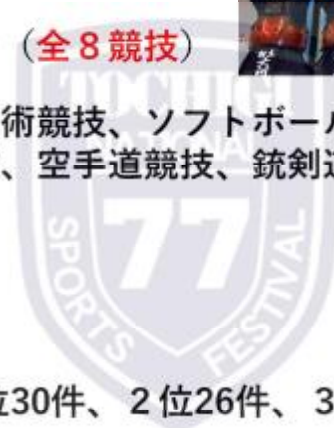
体操競技、自転車競技、馬術競技、ソフトボール競技、剣道競技、ラグビーフットボール競技、空手道競技、銃剣道競技



<入賞数>

競技数 : 34競技

件数 : 延べ191件 (1位30件、2位26件、3位32件、4~8位103件)



今後の競技力向上に向けた取組



【今後の競技力向上において重視する視点】

- 持続可能な競技力の向上を図っていくため、競技団体におけるアスリート発掘・育成・強化システムの確立
- 国民体育（スポーツ）大会の総合成績における上位の維持
- オリンピック・パラリンピック競技大会に代表される各種国際大会等に本県ゆかりのアスリートを多数輩出

【競技力向上のための4本の柱】

- I 「競技力の維持・組織運営体制の強化」
- II 「次世代アスリートの発掘・育成・強化」
- III 「指導者の養成・資質向上」
- IV 「スポーツ医・科学の活用」



両大会のレガシー継承に向けた取組

とちぎスポーツの活用による地域活性化推進事業

- ・ 地域スポーツコミッションの設立
- ・ 大規模大会やスポーツイベント等の誘致、開催に対する助成
- ・ スポーツ合宿等の誘致、開催に対する助成
- ・ テーマ別ツーリズムの推進



いちご一会とちぎ感動スポーツプロジェクト推進事業

- ・ 国体を実施した競技を県内各市町に根付かせるため、各市町等が開催するスポーツ体験教室や普及イベントに対する助成

TOCHIGI

TOCHIGI





いちご一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022



いちご一会とちぎ大会の結果と 今後の取組



いちご一会とちぎ大会結果概況

- 1 栃木県選手団
選手 296人(個人競技148人、団体競技148人)
役員 175人
合計 471人
- 2 栃木県選手団成績
個人競技 メダル 141個(金62 銀40 銅39)
団体競技 メダル 3個(銀 1 銅 2)
合計 メダル 144個(金62 銀41 銅41)



TOCHIGI

今後の取組

1 障害者スポーツマネジメント事業について

(1) 障害者スポーツアドバイザー事業（新規）

「栃木県障害者スポーツボランティア人材バンク」を効果的に運用するため、栃木県障害者スポーツ協会に「障害者スポーツアドバイザー」を配置



(2) スポーツスクール開催事業（新規）

いちご一会とちぎ大会を契機としてスポーツを始めたい障害者にきっかけを提供するとともに、指導者やボランティアが障害者スポーツを経験する場としてスポーツスクールを開催



TOCHIGI

(3) 栃木県障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会記念大会)開催事業(新規)

いちご一会とちぎ大会を記念し、栃木県障害者スポーツ大会の競技種目を拡充して開催

栃木県障害者スポーツ大会 (いちご一会とちぎ大会記念大会)

県障スポ大会 従来競技

○個人競技 6 競技

- ・陸上
- ・水泳
- ・卓球 (STT含む)
- ・フライングディスク
- ・アーチェリー
- ・ボッチャ



○団体競技 3 競技

- ・車いすバスケットボール
- ・グランドソフトボール
- ・ソフトボール



令和 5 年度以降追加競技

○個人競技 1 競技

- ・ボウリング

○団体競技 4 競技

- ・バスケットボール
- ・バレーボール
- ・フットソフトボール
- ・サッカー



TOCHIGI

2 障害者スポーツ推進事業について

(1) 障害者スポーツ選手等育成・強化事業

いちご一会とちぎ大会に向けて構築してきた育成・強化体制の定着と選手の競技力向上を目的として、令和5（2023）年度以降も継続して実施



(2) 障害者スポーツ指導員養成事業費

指導員養成のための研修会を実施



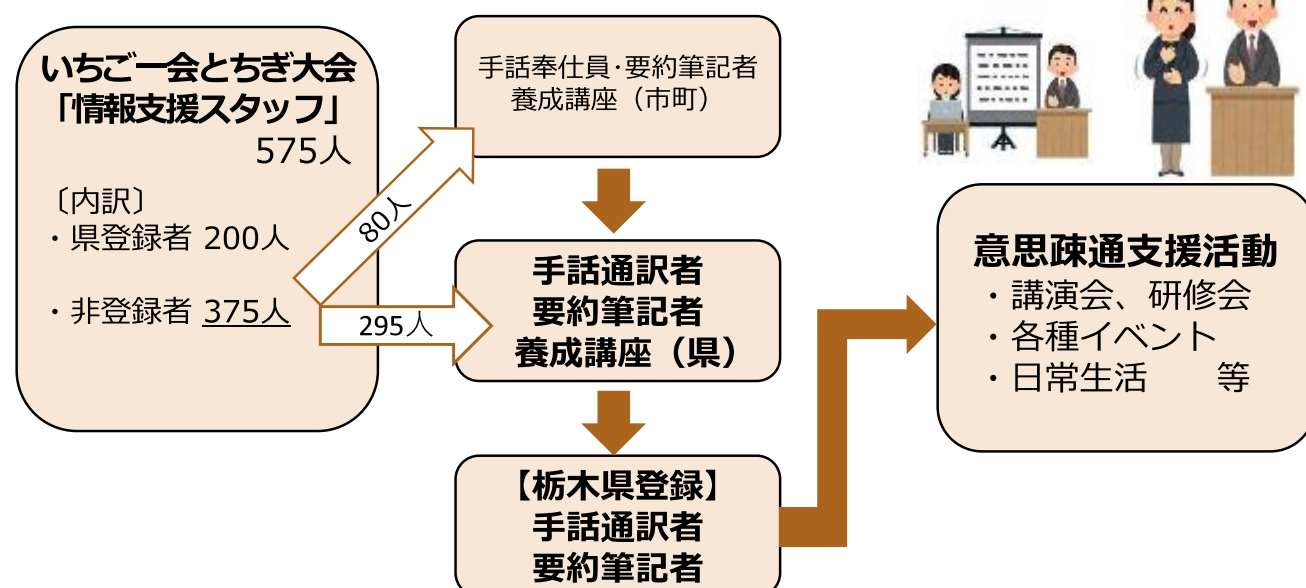
(3) 特別全国障害者スポーツ大会派遣事業費

鹿児島県で開催される全国障害者スポーツ大会へ栃木県選手団を派遣

TOCHIGI

3 意思疎通支援者の充実にに向けた取組

○手話通訳・要約筆記者の養成



TOCHIGI

報告事項4

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 役員及び委員等の変更

令和4年7月11日から令和5年3月22日までの間における役員及び委員等の変更については、次のとおりである。

○ 常任委員 (敬称略)

機関・団体名及び役職	新	旧
栃木県警察本部長	難波 健太	野井 祐一

○ 委員

機関・団体名及び役職	新	旧
下野市長	坂村 哲也	広瀬 寿雄
(一社)日本旅行業協会関東支部栃木県地区委員会委員長	鹿野 英克	高橋 健一
(公社)日本青年会議所関東地区栃木ブロック協議会会長	倉松 宗道	石倉 大

○ 参与

機関・団体名及び役職	
栃木県教育委員会委員	永島 朋子
(株)産経新聞社 宇都宮支局長	伊澤 利幸
(一社)共同通信社 宇都宮支局長	川口 晃

審 議 事 項

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会
令和 4（2022）年度 事業報告（案）

1 開催概要

(1) いちご一会とちぎ国体 (第 77 回国民体育大会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 10 月 1 日（土）に総合開会式、10 月 11 日（火）に総合閉会式をカンセキスタジアムとちぎにおいて開催 ・正式競技 37、特別競技 1、公開競技 5、デモンストレーションスポーツ 31 の計 74 競技を県内各地及び千葉県で開催 ・男女総合、女子総合ともに第 2 位を獲得
(2) いちご一会とちぎ大会 (第 22 回全国障害者スポーツ大会)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 10 月 29 日（土）に開会式、10 月 31 日（月）に閉会式をカンセキスタジアムとちぎにおいて開催 ・正式競技 14、オープン競技 3 の計 17 競技を県内各地で開催 ・個人競技で 141 個（金 62 個、銀 40 個、銅 39 個）、団体競技で 3 個（銀 1 個、銅 2 個）のメダルを獲得

2 開催業務

主な業務	内容	備考
(1) 新型コロナウイルス感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策ガイドラインの策定 ・全ての参加者に対する健康管理の実施及び選手団等における事前 PCR 検査の義務づけ ・会期中の選手団における抗原定性検査の実施 	
(2) 環境に配慮した国体・障スポの開催	<ul style="list-style-type: none"> ◇再生可能エネルギーの活用 ・県総合運動公園におけるふるさと電気の活用、EV・FCV によるブース運営 ・炬火燃料の一部にバイオガス由来の LP ガスを使用 ◇リサイクル素材の活用 ・再生 PET 素材を使用した選手団ユニフォームやスタッフベスト、バイオマス素材の応援グッズ ・回収衣類を応援グッズ（ハンドタオル）にリサイクルする県民参加プロジェクトの実施 ◇代替素材によるプラスチックの不使用 ・紙製弁当容器の使用 ・紙製の賞状持ち帰り袋の使用 ・競技別の表彰状等に森林認証を受けた製品を活用 ◇紙類使用の削減 ・観戦ガイドブック、総合プログラム等の電子化 等 	
(3) 歓迎・おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ◇おもてなし広場の運営 ・開・閉会式会場いちご一会広場の運営 ・障スポ競技会場おもてなし広場の運営 ◇いちご一会運動（県民運動）の展開 ・オールとちぎプロジェクト第 2 弾（花育で隊）、第 3 弾（きれいな街で迎え隊）の実施 ・いちご一会ダンスキャラバン隊による PR 活動 ・いちご一会ダンスコンテスト（決勝大会）の開催 ・都道府県応援団による応援の実施 ・総合案内所、駅案内所の運営 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・主要駅等での歓迎装飾の実施 ・いちご一会花リレーの実施 ・デザイン飾花の設置 ◇参加章及び記念章等の制作・配布 <ul style="list-style-type: none"> ・選手等参加者に参加章及び記念章を配布 ・選手等参加者にトキノキコースターを配布（国体） ・障スポ選手団に県産木材によるメッセージカードを配布 	
(4) 広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◇両大会PR・機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・広報ボランティアによるPR活動 ・広報誌「いちご一会通信」の発行 ・ラジオ・新聞広告等メディアによるPR ・両大会開催100日前イベントの実施 ・電子版観戦ガイドブックの作成 ◇国体チャンネル等による観戦機会の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・（公財）日本スポーツ協会が運営する「国体チャンネル」で正式競技の決勝等をインターネット配信 ・県庁県民広場に設置の大型LEDビジョンにて決勝等の映像を放映（設置期間：R4.10.2～11） ◇報道員対応 <ul style="list-style-type: none"> ・報道員ハンドブックの作成 ◇両大会終了後の広報 <ul style="list-style-type: none"> ・国体と障スポの総括番組の制作 ・メモリアルギャラリーの開催 ・大会報告書の作成 ◇文化プログラム事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・登録事業件数301件（実施期間：R4.1.1～12.31） ・県主催事業「みんなで育む“とちぎのたから”ミュージカル『しもつけ王国物語』」のほか、県立博物館・美術館の企画展など県内各地で事業実施 	
(5) 募金・企業協賛の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いちご一会募金（寄附金）及び協賛企業（物品協賛）の募集等 ・開・閉会式会場、競技会場等の協賛特典実施 ・大同生命保険株式会社からの特別協賛金の贈呈 	
(6) 会場等整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇開・閉会式会場等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県総合運動公園に仮施設等を整備 ・無線機・携帯電話の調達及び保守管理 ◇障スポ競技会場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・障スポ競技会場の仮設整備 	
(7) 配宿	<ul style="list-style-type: none"> ◇国体合同配宿 <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加者の配宿（市町と合同で実施） ◇障スポ配宿 <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加者の配宿（障害特性に配慮） 	
(8) 標準献立普及・弁当調達	<ul style="list-style-type: none"> ◇標準献立普及 <ul style="list-style-type: none"> ・標準献立集配布（宿泊施設等） ・WEB講習会実施 ・飲食店等と連携したPR 	

	◇弁当調達 ・昼食弁当の調達・あっせん ・弁当引換所の設置・運営	
(9) 医療救護	・救護所の設置・運営 ・医師、歯科医師、看護師の確保 ・体調不良者等への対応	
(10) 食品衛生対策・宿舍衛生対策	・保健所による監視指導 ・WEB講習会実施	
(11) 馬事衛生対策	・馬術競技における防疫対策 ・馬診療所・装蹄所の設置・運営 ・獣医師・装蹄師の確保	
(12) 輸送	◇国体輸送 ・輸送計画の作成 ・大会参加者・観覧者の輸送 ・交通対策（交通規制、各種広報等）の実施 ◇障スポ輸送 ・輸送計画の作成 ・大会参加者・観覧者の輸送 ・交通対策（交通規制、各種広報等）の実施	
(13) 警備・消防防災	◇国体開・閉会式等警備（自主警備・交通警備） ・警備員等によるID確認、所持品検査、雑踏警備等 ◇障スポ開・閉会式等警備（自主警備・交通警備） ・警備員等によるID確認、所持品検査、雑踏警備等	
(14) 開・閉会式等式典企画・運営	・各種練習会の実施 ・両大会の開・閉会式の準備及び運営 ・記録映像の作成	
(15) 炬火台制作	・炬火台の制作 ・式典における炬火台の燃焼管理 ・終了後の展示保存工事	
(16) 県記録本部設置	・県庁北別館に県記録本部を設置 ・国体記録システムの運用による競技記録の収集・公表及び都道府県総合成績の算出・公表	
(17) 国体総合プログラム作成	・総合開・閉会式や競技日程、組合せ等を掲載した電子版総合プログラムの作成	
(18) 国体・障スポ競技役員等養成・活用	・競技役員等養成事業（国体・障スポ）の実施及び各競技会での活用	
(19) セーリング競技会開催	・競技会場のゾーニングによる一般観客と選手団・関係者の動線分離 ・事前申込及びIDカードの発行による入場者管理の徹底 ・選手団・関係者に対する健康管理及び事前PCR検査の義務付け ・競技別プログラム、開催報告書の作成 ・オンラインによるレース運営の実施	

(20) ボランティア等の養成・活用	<ul style="list-style-type: none"> ◇運営ボランティア <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催、配置決定及び両大会での活用 ◇情報支援スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催及びリハーサル大会・両大会での活用 ◇選手団サポーター <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座の実施及び障スポ大会での活用 	
(21) 障スポ競技会運営	<ul style="list-style-type: none"> ◇競技用具整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼッケンの製作、フライングディスク等の購入 ◇競技付帯サービス <ul style="list-style-type: none"> ・コンディショニングルーム、車いす・補装具修理所の運営 ◇競技運営委託 <ul style="list-style-type: none"> ・競技運営主管団体による競技会の運営 	
(22) 各種システム運用	<ul style="list-style-type: none"> ◇来場者管理システム <ul style="list-style-type: none"> ・開・閉会式に係る一般観覧者及び競技会観覧者の募集、抽選、配席、駐車場の割付、名簿管理、入場券発行 ・大会役員・特別招待者・一般招待者の来会調査、配席、駐車場の割付、名簿管理、IDカード発行 ・スタッフ・視察員・実務研修員の名簿管理、IDカード発行 ・式典及び競技会当日の受付、IDカード・入場券の再発行 ◇国体参加申込システム <ul style="list-style-type: none"> ・県庁北別館に参加申込受付センターを設置 ・正式・特別競技の選手・監督及び都道府県本部役員、視察員の参加申込受付を実施 ◇障スポ競技運営システム <ul style="list-style-type: none"> ・競技プログラム編成や競技記録を入力する競技運営支援システムの運用 ・陸上競技及び水泳の競技運営等のサポートシステムの運用 	

3 会議の開催

(1) 総会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第4回	R4. 7. 11	224名 (154名)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3(2021)年度事業報告(案) ・令和3(2021)年度収支決算(案) ・令和4(2022)年度事業計画(案) ・令和4(2022)年度収支予算(案) 	栃木県総合文化センター
第5回	R5. 3. 22	224名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4(2022)年度事業報告(案) ・令和4(2022)年度収支決算見込み(案) ・令和4(2022)年度収支決算承認の会長への委任(案) ・実行委員会の解散及び会則の廃止(案) 	栃木県総合文化センター

(2) 常任委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第8回	R4.5.31	54名 (決議事項なし)	・練習会場の変更(案) ・国体における参加条件(案)等	書面開催
第9回	R4.7.11	54名(53名)	・開催可否検討に係る考え方(案)	栃木県総合文化センター

(3) 募金・企業協賛推進委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

(4) 専門委員会

ア 総務企画専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第8回	R4.6.24	16名(12名)	・開催可否検討に係る考え方(案) ・文化プログラムの追加(案)	ニューみくら

イ 施設整備専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

ウ 競技運営専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第10回	R4.5.27	15名(12名)	・国体における参加条件(案) ・公開競技/綱引競技会における感染防止対策(案) ・練習会場の変更(案)	栃木県庁北別館
第11回	R4.6.29	15名(14名)	・競技会における新型コロナウイルス感染症感染防止ガイドラインの一部改定(案) ・国体における参加条件(案) ・各競技会における開催可否の考え方(案) ・練習会場の変更(案)	栃木県庁北別館

エ 広報・県民運動専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

オ 宿泊・衛生専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

カ 医療救護専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

キ 輸送・交通専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

ク 警備・消防専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

ケ 式典専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第11回	R4.5.26	19名 (決議事項なし)	・総合開・閉会式次第(案) ・エンディングプログラムの変更(案)	書面開催
第12回	R4.8.19	19名(11名)	・開・閉会式における新型コロナウイルス感染症感染防止対策ガイドライン(案)	栃木県庁北別館

コ セーリング競技会専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第7回	R4.6.22	22名(18名)	・セーリング競技会の準備状況(案) ・セーリング競技会における新型コロナウイルス感染症感染防止対策(案)等	ホテルポートプラザちば

サ 全国障害者スポーツ大会専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第7回	R4.6.28	35名(28名)	・特別招待者の範囲の一部変更(案) ・競技会における新型コロナウイルス感染症感染防止対策ガイドラインの改定(案) ・障スポ大会における参加条件(案)	栃木県総合文化センター

(5) その他の会議

ア 市町村連絡会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
第6回	R4.5.24	79名	・国体会場地市町運営交付金の交付対象事業の中止・延期の取扱いについて ・学校への協力依頼事項について ・式典概要について ・国体における参加条件について ・国体の参加条件設定に係る市町実行委員会の対応について ・競技会場における感染防止対策について	栃木県自治会館
第7回	R4.7.1	89名	・開催可否検討に係る考え方について ・国体競技会の開催可否に係る検討について ・国体競技会感染防止対策ガイドラインの改定について ・国体における参加条件について	栃木県庁研修館

			<ul style="list-style-type: none"> ・参加条件に係る検査実施体制について ・有観客による競技会開催について ・競技会場における来場者管理について 	
--	--	--	--	--

イ 全国報道員会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
	R4. 9. 16 (国体) R4. 10. 14 (障スポ)	報道関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・取材協定について ・開・閉会式の取材について ・開・閉会式次第及び移動制限等について ・共同記者会見について 	書面開催

ウ 総監督会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
	R4. 9. 30	113名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員・選手団ハンドブックについて ・総合成績の公開について ・昼食弁当について ・医療救護体制について ・輸送交通について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・アンチ・ドーピング活動について 	栃木県庁北別館

エ 全国代表者会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
	R4. 10. 17	154名	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止に係る参加条件等について ・開・閉会式参加について ・閉会式における選手団の動きについて 	栃木県庁北別館

オ 主催者連絡会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
			開催実績無し	

カ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会交通総量抑制会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
第2回	R4. 7. 25	44名	<ul style="list-style-type: none"> ・開・閉会式輸送実施計画 ・交通規制計画の概要 ・交通総量抑制対策の協力依頼 	栃木県総合文化センター

キ 競技運営担当者会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
第4回	R4. 4. 20	133名	<ul style="list-style-type: none"> ・競技日程・組合せ表(確定版)、競技別プログラムについて ・参加申込受付業務について ・組合せ抽選会について ・表彰状等について 	栃木県総合教育センター

			<ul style="list-style-type: none"> ・来場者管理システムについて ・服飾・識別用品の製作について ・総合開・閉会式への役員・選手団の参集について 	
第5回	R4. 7. 13	149名	<ul style="list-style-type: none"> ・参加申込受付業務について ・表彰状等について ・競技会の開催可否に係る検討について ・国体における参加条件について ・競技会場における感染防止対策について ・有観客による競技会開催について ・いちご一会とちぎ国体会場地市町運営交付金について 	栃木県総合教育センター

ク 新型コロナウイルス感染防止対策に係る説明会

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
	R4. 9. 1	47 都道府県 体育・スポーツ協会担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会場への来場について ・体調不良者等発生時の連絡体制について ・参加条件に係るPCR検査・抗原定性検査について 	栃木県庁北別館

4 各種調査の実施

主な調査	内容
報道員来会調査 (国体・障スポ)	・全国の報道機関等を対象とした来会意向調査
輸送・交通業務関係調査 (国体・障スポ)	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会場共通車両証対応駐車場調査 (本大会) ・福祉車両提供意向等調査 (障スポ) ・電動車いす規格調査 (障スポ) ・利用交通機関意向調査 (障スポ)
競技関係調査 (国体)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策に係る調査 ・練習会場使用状況調査

第2号議案

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会
令和4年度補正予算及び収支決算見込(案)

収入決算額 5,427,166,953 円
 支出決算額 5,427,146,384 円
 差引残額 20,569 円
 (差引残額は県へ返還)

1 収入の部

(単位:円)

科目	当初予算	6月補正額	2月補正額	補正後予算額(a)	決算(見込)額(b)	決算額(2/20迄)	決算見込額(2/21~)	差額(b)-(a)	備考
負担金	5,362,466,000	351,158,000	▲ 282,800,000	5,430,824,000	5,345,159,294	5,345,159,294	0	▲ 85,664,706	県負担金※
繰越金	0	0	0	0	3,525	3,525	0	3,525	過年度預金利息
その他の収入	75,395,000	0	6,592,090	81,987,090	82,004,134	72,644,134	9,360,000	17,044	当年度預金利息、合同配宿市町負担金等
合計	5,437,861,000	351,158,000	▲ 276,207,910	5,512,811,090	5,427,166,953	5,417,806,953	9,360,000	▲ 85,644,137	

2 支出の部

(単位:円)

科目	当初予算	6月補正額	2月補正額	補正後予算額(a)	決算(見込)額(b)	決算額(2/20迄)	決算見込額(2/21~)	差額(b)-(a)	備考
事業費	5,431,951,000	351,158,000	▲ 275,907,910	5,507,201,090	5,416,735,141	5,283,091,886	133,643,255	▲ 90,465,949	
1 実行委員会費	3,985,000	0	0	3,985,000	1,238,192	1,012,432	225,760	▲ 2,746,808	専門委員会開催経費(報償費、旅費)等
2 来場者管理業務関係事業費	106,484,000	0	▲ 8,940,500	97,543,500	91,329,127	91,329,127	0	▲ 6,214,373	来場者管理業務経費
3 実施本部運営事業費	6,990,000	0	▲ 1,000,000	5,990,000	2,889,040	2,889,040	0	▲ 3,100,960	ハイヤー配車経費、特別接伴消耗品等
4 服飾・識別用品等調達事業費	84,545,000	0	▲ 2,000,000	82,545,000	76,272,573	76,272,573	0	▲ 6,272,427	識別用服飾制作経費等
5 傷害保険等加入費	14,811,000	0	▲ 2,000,000	12,811,000	8,680,920	8,680,920	0	▲ 4,130,080	傷害保険、賠償責任保険経費等
6 環境配慮推進事業費	14,116,000	0	▲ 1,000,000	13,116,000	7,924,911	7,924,911	0	▲ 5,191,089	県民参加プロジェクト関係経費等
7 広報啓発費	332,486,000	0	71,600	332,557,600	352,179,887	301,761,933	50,417,954	19,622,287	国体チャンネル、歓迎装飾経費等
8 参加章等制作費	37,011,000	0	▲ 1,000,000	36,011,000	35,279,232	34,586,032	693,200	▲ 731,768	参加章・記念章制作経費
9 募金・企業協賛推進費	22,971,000	0	▲ 1,000,000	21,971,000	13,279,310	12,444,910	834,400	▲ 8,691,690	銘板設置経費等
10 開・閉会式会場等整備事業費	860,211,000	0	0	860,211,000	870,607,004	821,743,481	48,863,523	10,396,004	開・閉会式会場等整備経費等
11 宿泊衛生業務費	193,387,000	0	▲ 8,004,010	185,382,990	164,375,458	164,375,458	0	▲ 21,007,532	合同配宿業務委託経費等
12 医療救護業務費	21,900,000	0	▲ 5,000,000	16,900,000	16,603,907	16,603,907	0	▲ 296,093	医師派遣謝金等
13 輸送交通業務費	1,235,330,000	0	▲ 124,760,000	1,110,570,000	1,068,575,558	1,068,482,058	93,500	▲ 41,994,442	宿泊・輸送業務実施業務委託経費等
14 警備消防業務費	393,428,000	0	▲ 8,000,000	385,428,000	399,002,000	399,002,000	0	13,574,000	自主警備・交通警備実施業務委託経費
15 式典費	750,560,000	0	▲ 6,900,000	743,660,000	735,308,658	705,913,740	29,394,918	▲ 8,351,342	開・閉会式実施業務委託経費等
16 国体競技役員等養成事業費	10,422,000	0	▲ 4,500,000	5,922,000	4,557,368	4,557,368	0	▲ 1,364,632	競技役員等養成事業補助金
17 国体競技用具整備事業費	31,374,000	0	▲ 500,000	30,874,000	31,858,870	31,858,870	0	984,870	馬術競技障害物整備※、ボート運搬業務経費等
18 国体競技会場関連事業費	67,540,000	0	▲ 4,500,000	63,040,000	62,154,184	62,154,184	0	▲ 885,816	競技別表彰状、紙製額縁調達経費等
19 国体中央競技役員派遣費	111,595,000	0	▲ 5,518,000	106,077,000	99,562,132	99,562,132	0	▲ 6,514,868	中央競技役員派遣経費
20 セーリング競技会開催準備費	303,410,000	0	▲ 8,057,000	295,353,000	293,379,163	293,379,163	0	▲ 1,973,837	会場設営・撤去等業務委託経費等
21 障スポボランティア養成事業費	11,603,000	0	▲ 4,000,000	7,603,000	5,632,289	5,632,289	0	▲ 1,970,711	情報支援スタッフ養成経費等
22 障スポ競技会場整備事業費	658,468,000	0	7,000,000	665,468,000	675,357,651	675,357,651	0	9,889,651	競技会場整備業務委託経費等
23 障スポ競技役員等養成事業費	4,357,000	0	▲ 3,000,000	1,357,000	863,373	863,373	0	▲ 493,627	競技役員等養成経費等
24 障スポ競技会開催事業費	139,745,000	0	▲ 10,000,000	129,745,000	107,312,701	107,312,701	0	▲ 22,432,299	競技運営委託経費等
25 障スポ大会運営事業費	15,222,000	0	▲ 3,000,000	12,222,000	11,757,093	8,637,093	3,120,000	▲ 464,907	激励会場使用料、記念品制作経費等
26 新型コロナウイルス感染症対策検査事業費	0	351,158,000	▲ 70,300,000	280,858,000	280,754,540	280,754,540	0	▲ 103,460	POR検査業務委託経費等
事務局費	5,910,000	0	▲ 300,000	5,610,000	10,411,243	9,706,321	704,922	4,801,243	事務局運営経費(旅費、消耗品等)
合計	5,437,861,000	351,158,000	▲ 276,207,910	5,512,811,090	5,427,146,384	5,292,798,207	134,348,177	▲ 85,664,706	

※ 負担金収入及び事業費支出(国体競技用具整備事業費)のうち26,642,000円については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度中に履行できなかった競技用具の整備に関する経費です。


監 査 報 告 書

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会における令和4年度会計について、関係書類や預金通帳を基に監査を実施しましたが、経費の支出目的及び執行とも適切に処理されていたことを報告いたします。

令和5（2023）年3月1日

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会監事

栃木県会計管理者会計局長

小川俊彦 

県市長会事務局長・町村会常務理事

水沼忠雄 

第3号議案

令和4（2022）年度収支決算承認の会長への委任（案）

令和4（2022）年度収支決算については、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会則第18条の規定によらず、その承認を会長に委任する。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会則（抜粋）

（予算及び決算）

第18条 実行委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て総会の承認を得なければならない。

第4号議案

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会の解散及び 会則の廃止について（案）

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会は、会則第2条に規定する目的を達成したため、会長が令和4（2022）年度収支決算を承認した日をもって解散し、会則を廃止する。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会則（抜粋）

（目的）

第2条 実行委員会は、第77回国民体育大会及び第22回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」という。）を栃木県において開催するために必要な事業を行うことを目的とする。

（総会）

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

（2）会則の制定及び改廃に関すること

（解散）

第21条 実行委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

感 謝 狀 贈 呈

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 感謝状被贈呈者一覧

NO.	区分	個人、企業・団体等	贈呈理由
1	周知・機運醸成	募金・企業協賛推進委員会 委員長 青木 勲	目標を大きく上回る7億円超の募金・協賛額達成や、国体パートナー企業が国体史上最多の19社となるなど、長年にわたり尽力いただいたほか、県内企業等と連携した両大会の周知・機運醸成への協力など、両大会の成功に貢献
2		サトウヒロコ	イメージソング歌作者として、イメージソング「いちご一会」の普及や、イベント出演による両大会のPR、SNSを活用した情報発信など、両大会の周知・機運醸成に貢献
3		U字工事	メディアや映像を通じて両大会の周知や機運醸成に貢献するとともに、開・閉会式フィールド司会者として円滑な進行に貢献
4		山田リズム体操クラブ 代表 山田 喜美江	いちご一会ダンス振付制作者として、いちご一会ダンスの振付指導や、ダンスコンテストの審査員として尽力いただいたほか、主宰する山田リズム体操クラブを通じたダンスの普及など、両大会の周知・機運醸成に貢献
5		栃木県女子体育連盟	いちご一会ダンスコンテストの審査員や、ダンス講習会への講師の派遣、ダンスキャラバン隊の積極的な支援・協力など、イメージソングやダンスの普及を通じた両大会の周知・機運醸成に貢献
6		株式会社下野新聞社	報道や番組等を通じて両大会の情報発信を行い、開催機運の醸成に貢献
7		株式会社とちぎテレビ	
8		株式会社栃木放送	
9		株式会社エフエム栃木	
10		日本放送協会宇都宮放送局	
11		栃木県土地開発公社	県への高額寄附をおもてなしや環境配慮など市町の競技会運営支援等に活用させていただいたことにより、両大会の開催に貢献
12		大同生命保険株式会社	大会特別協賛として、協賛金1億円を提供いただいたほか、障スポ競技会の表彰式におけるプレゼンターやおもてなし広場への出展など大会全般にわたり貢献
13		株式会社足利銀行	とちぎ国体・とちぎ大会応援債「BIG BERRY」の創設や、宇都宮中央支店展示スペースの無償貸与、各支店のデジタルサイネージを活用したPR動画の配信など、本・支店を含め全社を挙げて両大会の周知・機運醸成に貢献
14		株式会社日環	県庁県民広場に大型LEDビジョンを設置し、競技会の決勝等の迫力ある映像を配信することで観戦機会の確保や機運醸成に貢献
15	環境配慮	協栄産業株式会社	本県選手団ユニフォーム等へのペットボトルから再生した素材の提供や、県内各地で実施したユニフォーム展示によるPR活動への協力を通じ、環境に配慮した大会の実現に貢献
16		古河電気工業株式会社	炬火台燃料(グリーンLPガス)の提供により、環境に配慮した両大会の実現に貢献
17		サンプラスチック株式会社	両大会における実用化を目指した環境配慮型の製品・サービスの開発を行い、メイド・イン・とちぎによる環境に配慮した大会の実現に貢献
18		ヘイコーバック株式会社	
19		株式会社幕吉	
20	ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社		
21	おもてなし	公益社団法人栃木県観光物産協会	おいでよ!とちぎ館・宇都宮駅ビルショップとちびより等における両大会オリジナルラベル商品の販売や、展示コーナーによる同商品のPRのほか、本県特産品の展示・確保等に尽力するなど、日本一のおもてなしの実現に貢献
22		栃木県高等学校教育研究会農業部会	花いっぱい運動に係る推奨花の選定や、花育でガイドブックの作成支援、花リレーの試行栽培を通じた事業の検証・分析など、花による日本一のおもてなしの実現に貢献
23		栃木県立鹿沼商工高等学校	両大会の開催に向け、生徒自らが考案した「青春(あまずっぱい)いちごまんじゅう」の商品化や、イベント等での販売を通じた周知・機運醸成など、県民総参加による日本一のおもてなしの実現に貢献
24		株式会社栃毛木材工業	選手・役員等に記念品として配布したトチノキコースターの制作のため、木材の保管・運搬・助言等の協力により、大会のおもてなしに貢献
25	ボランティア	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会	平成30年度以降、情報支援スタッフの募集・養成から配置・運用まで一貫して尽力したほか、開・閉会式や競技会における円滑な大会運営及びおもてなしに貢献
26		株式会社栃木銀行	とちぎSDGs私募債の創設や、両大会オリジナルカレンダーの制作・配布などにより、両大会の周知等に協力いただいたほか、全新入行員55名を含めた延べ約300名超の社員による運営ボランティアへの参加など、日本一のおもてなしの実現に貢献
27		五家英子とみんなで楽しく踊ろう会	会員延べ160名を超える方々による運営ボランティア活動への協力など、日本一のおもてなしの実現に貢献
28		東京電力パワーグリッド株式会社 栃木総支社	東京電力グループとして延べ約200名の社員の方々による運営ボランティア活動への協力など、日本一のおもてなしの実現に貢献
29		JALふるさと応援隊(栃木県)	JALふるさと応援隊(栃木県)のメンバーが、乗務経験で培った知識・経験を活かし、地域貢献活動の一環として、運営ボランティアのおもてなし力向上に向けた研修会に協力いただくなど、日本一のおもてなしの実現に貢献
30	輸送・交通	一般社団法人栃木県バス協会	選手や観覧者等を輸送するバスの確保やバスの誘導等に協力し、円滑な大会運営に貢献
31		一般社団法人栃木県タクシー協会	選手や観覧者等が利用するタクシーの確保やタクシー乗降場の運営のほか、「運転者おもてなし研修」の開催によるタクシー運転手のおもてなし力の向上に貢献
32		一般社団法人栃木県トラック協会	選手の車いすを運搬するトラックの確保等に協力し、円滑な大会運営に貢献
33		東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社	選手団の来・離県に必要な列車の増便のほか、選手の乗降補助や選手団の歓送迎への協力など、円滑な大会運営及びおもてなしに貢献
34		東武鉄道株式会社	西川田駅等で花を用いた歓迎装飾の実施や、来場者の輸送と西川田駅混雑時の駅構内での交通整理など、円滑な大会運営及びおもてなしに貢献
35		姿川地区自治会連合会	住民に対するボランティアの募集、各種イベント及び交通規制の周知、通行自粛の依頼などに協力し、円滑な大会運営に貢献
36		緑が丘地区連合自治会	
37		陽南地区連合自治会	
38		陽光地区連合自治会	
39		五代若松原地区連合自治会	

NO.	区分	個人、企業・団体等	贈呈理由
40	宿泊・衛生・弁当	栃木県旅館ホテル生活衛生同業組合	県内宿泊施設の確保に尽力したほか、のぼり旗の掲出や県産食材を使用した食事の提供等によるおもてなしに貢献
41		とちぎ弁当連絡協議会	両大会の参加者に提供する昼食弁当の調達に貢献
42		全国農業協同組合連合会栃木県本部	式典弁当の献立検討に尽力したほか、栃木県産「とちぎの星」の新米の提供により食材の調達に貢献
43		公益社団法人栃木県栄養士会	アスリートに適した栄養基準量や食品構成等の目安となる標準献立作成方針の検討、スポーツ栄養に配慮した標準献立集「勝利を目指すアスリートのレシピ」に掲載するメニューの作成等に貢献
44		栃木県調理師連合会	
45	医療救護・警備	一般社団法人栃木県医師会	会場内の救護所への医師・歯科医師・看護師の派遣、来場者や選手等の救護を行い、円滑な大会運営に貢献
46		一般社団法人栃木県歯科医師会	
47		公益社団法人栃木県看護協会	
48		一般社団法人栃木県薬剤師会	アンチ・ドーピング活動、使用可能医薬品の情報提供等を行い、円滑な大会運営に貢献
49		日本赤十字社栃木県支部	会場内の救護所へのボランティアの派遣、来場者や選手等の救護を行い、円滑な大会運営に貢献
50		一般社団法人栃木県警備業協会	警備員の確保・養成に尽力し、円滑な大会運営に貢献
51	式典	栃木県吹奏楽連盟	式典音楽隊(吹奏楽隊)の編成や演奏指導などを行い、栃木ゆかりの楽曲を取り入れた式典音楽演奏による本県の魅力発信に貢献
52		栃木県合唱連盟	式典音楽隊(合唱隊)の編成や歌唱指導などを行い、栃木ゆかりの楽曲を取り入れた式典音楽歌唱による本県の魅力発信に貢献
53		天野 正道	栃木ゆかりの楽曲を取り入れ、将来にわたり演奏される本県の遺産となる式典音楽を作曲、編曲し、本県の魅力発信に貢献
54		鈴木 英史	
55		八木澤 教司	
56		三宅 祐人	
57		栃木県高等学校体育連盟ダンス専門部	栃木のバランスの取れた豊かさを表現する式典演技に出演する高校生の編成や演技指導を行い、式典演技による本県の魅力発信に貢献
58		栃木県高等学校文化連盟書道専門部会	栃木のバランスの取れた豊かさを表現する式典演技の書道パフォーマンスに出演する高校生の編成や演技指導を行い、式典演技による本県の魅力発信に貢献
59		本間 憲一	栃木のバランスの取れた豊かさを表現するため、自然・歴史・文化、産業などの特長を取り入れた式典演技の振付制作や演技指導を行い、式典演技による本県の魅力発信に貢献
60		生沼 幹夫	
61	倉澤 大樹	栃木のバランスの取れた豊かさを表現するため、自然・歴史・文化、産業などの特長を取り入れた式典演技の音楽を制作し、式典演技による本県の魅力発信に貢献	
62	栃木県高等学校文化連盟放送専門部会	式典アナウンサーの選抜や指導など式典の円滑な進行に貢献	
63	競技会運営	公益社団法人栃木県獣医師会	馬術競技における防疫対策や馬の診療など円滑な大会運営に貢献
64		千葉県セーリング連盟	セーリング競技会の事前準備、千葉市内の各団体との調整、競技役員の確保に貢献
65		公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	各競技1位の選手に手渡すビクトリーブーケ約1,500束を、大会期間中、延べ130人を超えるボランティアスタッフで制作し、大会の盛り上げに貢献
66		一般社団法人栃木県理学療法士会	障スポ大会における資格審査員を推薦し、公平な競技運営に貢献するとともに、コンディショニングルームを運営し、選手団のサポートや、円滑な大会運営に貢献
67		一般社団法人栃木県作業療法士会	
68		公益社団法人栃木県柔道整復師会	障スポ競技会場において、コンディショニングルームを運営し、選手団のサポートや、円滑な大会運営に貢献
69		一般社団法人栃木県鍼灸マッサージ師会	
70		一般社団法人栃木県鍼灸師会	
71		株式会社オアエックスエンジニアリング	障スポ競技会場において、車いす・補装具修理所を運営し、選手団のサポートや、円滑な大会運営に貢献
72		日進医療器株式会社	
73		協和義肢工業株式会社	
74	宇都宮地方気象台	総合リハーサルや全会期において、開催の実施態度の決定に必要な気象情報の提供や助言等により、大会の円滑な開催に貢献	
		10個人、64団体	

感謝状記念品について

【デザイン】

表面



裏面



【規格】

材 質 県産杉材
サイズ 幅 100mm 厚さ 10mm

【デザイン等説明】

日光東照宮を代表とする社寺の建築技術から発展した栃木県の伝統工芸品「鹿沼組子」をモチーフにデザインしており、「鹿沼組子」の文様の中でも縁起のいい意味がこめられた「七宝」を使用しています。

サイズは、第77回国民体育大会、第22回全国障害者スポーツ大会の大会回数に、「新しいとちぎ」づくりに向かってプラス1の、幅 100 mmとしています。

なお、机等に立てられるようにアクリルスタンドを付属しています。

参 考 资 料

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 役員名簿

【会長】1名 【副会長】8名 【常任委員】46名 【監事】2名 計57名

令和5年3月22日現在

(敬称略)

No.	役職	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
1	会長	県関係	栃木県知事	福田 富一
2	副会長	県議会関係	栃木県議会議長	山形 修治
3		県関係	栃木県副知事	北村 一郎
4		県関係	栃木県副知事	末永 洋之
5		県教委関係	栃木県教育委員会教育長	阿久澤 真理
6		市町村関係	栃木県市長会長	佐藤 栄一
7			栃木県町村会長	古口 達也
8		スポーツ関係	(公財)栃木県スポーツ協会理事長	石松 英昭
9			(特非)栃木県障害者スポーツ協会会長	麦倉 仁巳
10	常任委員	県議会関係	栃木県議会副議長	池田 忠
11			栃木県議会県政経営委員会委員長	中島 宏
12			栃木県議会生活保健福祉委員会委員長	加藤 雄次
13			栃木県議会農林環境委員会委員長	小林 達也
14			栃木県議会経済企業委員会委員長	平池 紘士
15			栃木県議会県土整備委員会委員長	小菅 哲男
16			栃木県議会文教警察委員会委員長	石坂 太
17			県関係	栃木県総合政策部長
18		栃木県経営管理部長		國井 隆弘
19		栃木県県民生活部長		野原 恵美子
20		栃木県環境森林部長		小野寺 一行
21		栃木県保健福祉部長		仲山 信之
22		栃木県産業労働観光部長		辻 真夫
23		栃木県農政部長		青柳 俊明
24		栃木県県土整備部長		坂井 康一
25		栃木県企業局長		北條 俊明
26		栃木県警察本部長		難波 健太
27		市町村関係	栃木県市議会議長会会長	君島 孝明
28			栃木県町村議会議長会会長	高橋 正昭
29			栃木県市町村教育委員会連合会会長	高橋 彰
30		スポーツ関係	(公財)栃木県スポーツ協会副会長	吉成 卓
31			(一社)栃木県レクリエーション協会会長	坂本 宏夫
32			栃木県スポーツ推進委員協議会会長	柳田 利夫
33			栃木県スポーツ推進審議会会長	久保 元芳
34			栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	清水 武治
35			栃木県小学校教育研究会体育部会部会長	國谷 優
36			栃木県中学校体育連盟会長	高橋 高
37			栃木県高等学校体育連盟会長	吉成 卓
38	(公財)栃木県民公園福祉協会理事長		熊倉 一臣	
39	学校関係		栃木県高等学校長会会長	大川 直邦
40		栃木県中学校長会会長	栗原 丈晴	
41		栃木県小学校長会会長	松本 和士	
42		栃木県私立中学高等学校連合会会長	船田 元	
43	産業・経済関係	(一社)栃木県経営者協会会長	青木 勲	
44		(一社)栃木県商工会議所連合会会長	藤井 昌一	
45		栃木県商工会連合会会長	福田 徳一	
46		栃木県中小企業団体中央会会長	齋藤 高藏	
47		(公社)栃木県経済同友会筆頭代表理事	松下 正直	
48	通信・運輸関係	(一社)栃木県バス協会会長	吉田 元	
49	宿泊・観光関係	(公社)栃木県観光物産協会会長	荻原 正寿	
50	医療・福祉関係	(一社)栃木県医師会会長	稲野 秀孝	
51		(福)栃木県社会福祉協議会会長	関根 房三	
52		社会団体関係	栃木県地域婦人連絡協議会会長	柳田 京子
53	栃木県女性団体連絡協議会会長		梅澤 啓子	
54	(一社)栃木県子ども会連合会会長		内藤 進	
55	栃木県PTA連合会会長		揚石 哲司	
56	監事	県関係	栃木県会計管理者会計局長	小川 俊彦
57	市町村関係	栃木県市長会事務局長・町村会常務理事	水沼 忠雄	

参考資料（２）

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 名簿

【会長】1名 【委員】224名 【監事】2名 【顧問】9名 【参与】59名 計295名

令和5年3月22日現在

【会長】1名

(敬称略)

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
1	県関係	栃木県知事	福田 富一

【委員】224名

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
1	県議会関係	栃木県議会議長	山形 修治
2		栃木県議会副議長	池田 忠
3		栃木県議会県政経営委員会委員長	中島 宏
4		栃木県議会生活保健福祉委員会委員長	加藤 雄次
5		栃木県議会農林環境委員会委員長	小林 達也
6		栃木県議会経済企業委員会委員長	平池 紘士
7		栃木県議会県土整備委員会委員長	小菅 哲男
8		栃木県議会文教警察委員会委員長	石坂 太
9	県関係	栃木県副知事	北村 一郎
10		栃木県副知事	末永 洋之
11		栃木県総合政策部長	鈴木 英樹
12		栃木県経営管理部長	國井 隆弘
13		栃木県県民生活部長	野原 恵美子
14		栃木県環境森林部長	小野寺 一行
15		栃木県保健福祉部長	仲山 信之
16		栃木県産業労働観光部長	辻 真夫
17		栃木県農政部長	青柳 俊明
18		栃木県県土整備部長	坂井 康一
19		栃木県企業局長	北條 俊明
20		栃木県警察本部長	難波 健太
21		栃木県教育委員会教育長	阿久澤 真理
22		栃木県議会事務局長	大橋 哲也
23		栃木県人事委員会事務局長	清水 正則
24		栃木県監査委員事務局長	伊藤 美智雄
25		栃木県労働委員会事務局長	桐淵 ゆか
26	市町村関係	栃木県市議会議長会会長	君島 孝明
27		栃木県町村議会議長会会長	高橋 正昭
28		栃木県市町村教育委員会連合会会長	高橋 彰
29		栃木県市長会長	佐藤 栄一
30		栃木県町村会長	古口 達也
31		宇都宮市長	佐藤 栄一
32		足利市長	早川 尚秀
33		栃木市長	大川 秀子
34		佐野市長	金子 裕
35		鹿沼市長	佐藤 信
36		日光市長	粉川 昭一
37		小山市長	浅野 正富
38		真岡市長	石坂 真一
39		大田原市長	相馬 憲一
40		矢板市長	齋藤 淳一郎
41		那須塩原市長	渡辺 美知太郎
42		さくら市長	花塚 隆志
43		那須烏山市長	川俣 純子
44		下野市長	坂村 哲也
45		上三川町長	星野 光利
46		益子町長	広田 茂十郎
47		茂木町長	古口 達也
48		市貝町長	入野 正明
49		芳賀町長	見目 匡
50		壬生町長	小菅 一弥

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
51	市町村関係	野木町長	真瀬 宏子
52		塩谷町長	見形 和久
53		高根沢町長	加藤 公博
54		那須町長	平山 幸宏
55		那珂川町長	福島 泰夫
56	スポーツ関係	(公財)栃木県スポーツ協会理事長	石松 英昭
57		(公財)栃木県スポーツ協会副会長	吉成 卓
58		栃木県レクリエーション協会会長	坂本 宏夫
59		栃木県スポーツ推進委員協議会会長	柳田 利夫
60		栃木県スポーツ推進審議会会長	久保 元芳
61		(特非)栃木県障害者スポーツ協会会長	麦倉 仁巳
62		栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	清水 武治
63		栃木県スポーツ少年団本部長	橋本 健一
64		栃木県小学校教育研究会体育部会部会長	國谷 優
65		栃木県中学校体育連盟会長	高橋 高
66		栃木県高等学校体育連盟会長	吉成 卓
67		栃木県高等学校野球連盟会長	菅野 光広
68		栃木県女子体育連盟会長	村島 恵美子
69		(公財)栃木県民公園福祉協会理事長	熊倉 一臣
70		栃木県障がい者スポーツ指導者協議会会長	郡司 原之
71	競技団体	栃木県水泳連盟会長	螺良 昭人
72		(一社)栃木県バスケットボール協会会長	小曾戸 和彦
73		栃木県ソフトテニス連盟会長	加藤 勉
74		(一財)栃木陸上競技協会会長	横松 盛人
75		栃木県バレーボール協会会長	大豆生田 将
76		(一財)栃木県野球連盟会長	中島 宏
77		栃木県卓球連盟会長	関 則男
78		栃木県体操協会会長	青木 克明
79		栃木県バドミントン協会会長	森田 昇
80		栃木県ソフトボール協会会長	佐藤 国生
81		栃木県ウエイトリフティング協会会長	砂岡 良治
82		栃木県山岳・スポーツクライミング連盟会長	石澤 好文
83		(公社)栃木県サッカー協会会長	星野 務
84		栃木県ボクシング連盟会長	船田 元
85		栃木県剣道連盟会長	白石 正範
86		栃木県柔道連盟会長	吉田 忠征
87		栃木県弓道連盟会長	森 茂行
88		栃木県相撲連盟会長	池田 忠
89		栃木県ライフルスポーツ射撃協会会長	谷津 義男
90		栃木県ラグビーフットボール協会会長	吉羽 茂
91		栃木県ハンドボール協会会長	五十嵐 清
92		栃木県レスリング協会会長	大島 大和
93		栃木県馬術連盟会長	金田 利彦
94		栃木県フェンシング協会会長	琴寄 昌男
95		栃木県空手道連盟会長	渡辺 眞幸
96		栃木県テニス協会会長	上野 通子
97		栃木県自転車競技連盟会長	佐藤 栄一
98		栃木県なぎなた連盟会長	青木 一男
99		栃木県銃剣道連盟会長	船田 元
100		栃木県セーリング連盟会長	船田 元
101		栃木県ホッケー協会会長	粉川 昭一
102		栃木県クレール射撃協会会長	内山 豊
103		栃木県アーチェリー協会会長	山田 美也子
104		栃木県ボート協会会長	山口 武夫
105		栃木県カヌー協会会長	平林 哲雄
106		栃木県ボウリング連盟会長	佐藤 勉
107		栃木県ゴルフ連盟理事長	松本 典文
108		(一社)栃木県トライアスロン協会会長	福嶋 稔
109		栃木県スキー連盟会長	齋藤 伸幸
110		栃木県スケート連盟会長	石幡 忠雄
111		栃木県アイスホッケー連盟会長	粉川 昭一

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名	
112	競技団体	栃木県綱引連盟会長	岡野 繁雄	
113		栃木県ゲートボール協会会長	船田 元	
114		栃木県パワーリフティング協会会長	吉羽 茂	
115		栃木県グラウンド・ゴルフ協会会長	谷 博之	
116		栃木県武術太極拳連盟会長	高山 守夫 (会長代行)	
117		オール栃木アームレスリング連盟会長	中塚 英範	
118		栃木県インディアカ協会会長	横松 盛人	
119		鹿沼市教育委員会教育長	中村 仁	
120		那須烏山市教育委員会教育長	田代 和義	
121		ましこチャレンジクラブ会長	原 実	
122		栃木県エアロビック連盟会長	船田 元	
123		栃木県オリエンテーリング協会会長	岡崎 良昭	
124		栃木県カローリング協会会長	佐藤 栄一	
125		栃木県キンボールスポーツ連盟会長	秋山 幸男	
126		(一社)日本クリケット協会代表理事	アンソニー・アラム	
127		那須塩原市スポーツ推進委員協議会会長	粒来 紀男	
128		(公社)日本3B体操協会栃木県支部支部長	門谷 敏子	
129		栃木県スポーツチャンバラ協会会長	原科 直之	
130		栃木県スポーツウエルネス吹矢協会会長	松村 兵三	
131		栃木県ソフトバレーボール連盟会長	石田 朗	
132		栃木県ターゲット・バードゴルフ協会会長	小林 利恒	
133		栃木県ダンススポーツ連盟会長	小野 武伸	
134		栃木県ドッジボール協会会長	川田 元之	
135		栃木県長ぐつアイスホッケー協会会長	長南 哲生	
136		栃木県パークゴルフ協会連合会会長	鈴木 実	
137		栃木県バウンドテニス協会会長	五月女 裕久彦	
138		栃木県フォークダンス協会会長	安生 忠男	
139		芳賀町体育協会会長	古谷 康典	
140		栃木県フットサル連盟会長	螺良 昭人	
141		栃木市フットベースボール協会会長	荒川 洋	
142		栃木県フライングディスク協会・栃木県ディスクゴルフ協会会長	築瀬 進	
143		栃木県ペタンク・ブール連盟会長	高橋 克法	
144		大田原ジョイフルスポーツクラブ理事長	菊池 貴章	
145		栃木県障害者フライングディスク協会会長	五味淵 一彦	
146		栃木県ボッチャ協会会長	君島 紀子	
147		(特非)全日本車椅子ダンス協会理事長	高根澤 利夫	
148		栃木県卓球バレー協会会長	木下 卓己	
149		学校関係	栃木県高等学校長会会長	大川 直邦
150			栃木県中学校長会会長	栗原 丈晴
151			栃木県小学校長会会長	松本 和士
152			栃木県私立中学高等学校連合会会長	船田 元
153			栃木県特別支援学校長会会長	中田 誠
154			栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会部会長	大島 聡
155			宇都宮大学学長	池田 幸
156			白鷗大学学長	北山 修
157			作新学院大学学長	渡邊 弘
158			文星芸術大学学長	田中 久美子
159			(一社)栃木県専修学校各種学校連合会理事長	石川 尚子
160	(一社)栃木県幼稚園連合会理事長		船田 弘和	
161	産業・経済関係	(一社)栃木県経営者協会会長	青木 勲	
162		(一社)栃木県商工会議所連合会会長	藤井 昌一	
163		栃木県商工会連合会会長	福田 徳一	
164		栃木県中小企業団体中央会会長	齋藤 高藏	
165		栃木県商店街振興組合連合会理事長	長島 俊夫	
166		(公社)栃木県経済同友会筆頭代表理事	松下 正直	
167		(一社)栃木県銀行協会会長	清水 和幸	
168		栃木県信用金庫協会会長	橋本 公之	
169		栃木県信用組合協会会長	塚田 義孝	
170		栃木県農業協同組合中央会代表理事会長	菊地 秀俊	
171		栃木県森林組合連合会代表理事会長	江連 比出市	
172		(一社)栃木県建設業協会会長	谷黒 克守	

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
173	通信・運輸関係	(一社) 栃木県バス協会会長	吉田 元
174		東日本旅客鉄道(株) 執行役員 大宮支社長	森 明
175		東日本旅客鉄道(株) 執行役員 高崎支社長	南沢 千春
176		東日本電信電話(株) 理事 栃木支店長	小林 博文
177		(一社) 栃木県タクシー協会会長	荒井 勝
178		東武鉄道(株) 鉄道事業本部営業統括部長兼営業部長	池田 直人
179		東日本高速道路(株) 関東支社宇都宮管理事務所長	平野 寛三
180		東日本高速道路(株) 関東支社那須管理事務所長	岩井 哲也
181	宿泊・観光関係	(公社) 栃木県観光物産協会会長	荻原 正寿
182		栃木県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	君島 則夫
183		(公社) 栃木県食品衛生協会会長	齋藤 公則
184		(一社) 日本旅行業協会関東支部栃木県地区委員会委員長	鹿野 英克
185		(一社) 栃木県旅行業協会会長	國谷 一男
186		栃木県食生活改善推進員協議会会長	鈴木 美恵子
187		(公社) 栃木県栄養士会会長	佐藤 敏子
188		栃木県調理師連合会会長	堀内 英夫
189	医療・福祉関係	(一社) 栃木県医師会会長	稲野 秀孝
190		(一社) 栃木県歯科医師会会長	赤沼 岩男
191		(一社) 栃木県薬剤師会会長	梅野 和邦
192		(公社) 栃木県看護協会会長	朝野 春美
193		(公社) 栃木県獣医師会会長	大住 敬
194		(福) 栃木県社会福祉協議会会長	関根 房三
195		(福) とちぎ健康福祉協会理事長	富田 哲夫
196		日本赤十字社栃木県支部長	福田 富一
197		(一財) 栃木県身体障害者福祉会連合会会長	麦倉 仁巳
198		(一社) 栃木県視覚障害者福祉協会会長	須藤 平八郎
199		(一社) 栃木県聴覚障害者協会理事長	稲川 和彦
200		(一社) 栃木県手をつなぐ育成会会長	小島 幸子
201		(一財) 栃木県精神衛生協会会長	朝日 公彦
202	警備・消防関係	(一財) 栃木県交通安全協会会長	阿部 武史
203		(公社) 栃木県防犯協会会長	鈴木 誠一
204		(公財) 栃木県消防協会会長	古山 大功
205	社会団体関係	栃木県地域婦人連絡協議会会長	柳田 京子
206		栃木県女性団体連絡協議会会長	梅澤 啓子
207		(一財) 栃木県老人クラブ連合会会長	前川 昭一
208		栃木県社会教育振興協議会会長	内藤 進
209		(公財) とちぎ未来づくり財団理事長	千金 楽 宏
210		栃木県文化協会会長	選出手続中
211		(公社) とちぎ環境・みどり推進機構理事長	増渕 充
212		栃木県青少年団体連絡協議会会長	矢野 優
213		(一社) 栃木県子ども会連合会会長	内藤 進
214		(公財) 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長	白澤 嘉宏
215		(一社) ガールスカウト栃木県連盟連盟長	三森 紀子
216		栃木県高等学校PTA連合会会長	館野 進一
217		栃木県PTA連合会会長	揚石 哲司
218		(公財) 栃木県国際交流協会理事長	篠崎 直樹
219		(公社) 日本青年会議所関東地区栃木ブロック協議会会長	倉松 宗道
220	国関係	自衛隊栃木地方協力本部長	梶 恒一郎
221		関東森林管理局日光森林管理署長	徳川 浩一
222		関東運輸局栃木運輸支局長	古谷野 正久
223		宇都宮地方気象台長	山田 博文
224		関東地方整備局宇都宮国道事務所長	吉田 幸男

【監事】2名

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
1	県関係	栃木県会計管理者会計局長	小川 俊彦
2	市町村関係	栃木県市長会事務局長・町村会常務理事	水沼 忠雄

【顧問】9名

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
1	国会議員	衆議院議員	船田 元
2		衆議院議員	福田 昭夫
3		衆議院議員	築 和生
4		衆議院議員	佐藤 勉
5		衆議院議員	茂木 敏充
6		衆議院議員	五十嵐 清
7		衆議院議員	藤岡 隆雄
8		参議院議員	上野 通子
9		参議院議員	高橋 克法

【参与】59名

No.	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名
1	県議会議員	栃木県議会議員	青木 克明
2		栃木県議会議員	阿部 寿一
3		栃木県議会議員	あべ ひろみ
4		栃木県議会議員	板橋 一好
5		栃木県議会議員	一木 弘司
6		栃木県議会議員	岩崎 信
7		栃木県議会議員	岡部 光子
8		栃木県議会議員	加藤 正一
9		栃木県議会議員	金子 武蔵
10		栃木県議会議員	木村 好文
11		栃木県議会議員	小池 篤史
12		栃木県議会議員	琴寄 昌男
13		栃木県議会議員	小林 幹夫
14		栃木県議会議員	佐藤 良
15		栃木県議会議員	塩田 ひとし
16		栃木県議会議員	白石 資隆
17		栃木県議会議員	関谷 暢之
18		栃木県議会議員	五月女 裕久彦
19		栃木県議会議員	相馬 政二
20		栃木県議会議員	高山 和典
21		栃木県議会議員	螺良 昭人
22		栃木県議会議員	中屋 大
23		栃木県議会議員	西村 しんじ
24		栃木県議会議員	野澤 和一
25		栃木県議会議員	野村 せつ子
26		栃木県議会議員	早川 桂子
27		栃木県議会議員	日向野 義幸
28		栃木県議会議員	保母 欽一郎
29		栃木県議会議員	松井 正一
30		栃木県議会議員	三森 文徳
31		栃木県議会議員	山口 恒夫
32		栃木県議会議員	山田 みやこ
33		栃木県議会議員	湯澤 英之
34		栃木県議会議員	横松 盛人
35		栃木県議会議員	吉羽 茂
36		栃木県議会議員	渡辺 幸子
37	県教委関係	栃木県教育委員会委員	陣内 雄次
38		栃木県教育委員会委員	板橋 信行
39		栃木県教育委員会委員	鈴木 純美子
40		栃木県教育委員会委員	金子 達也
41		栃木県教育委員会委員	永島 朋子

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
42	報道関係	(株)朝日新聞社 宇都宮総局長	庄司 直樹
43		(株)読売新聞社 宇都宮支局長	金子 尚敬
44		(株)毎日新聞社 宇都宮支局長	棚部 秀行
45		(株)産経新聞社 宇都宮支局長	伊澤 利幸
46		(株)日本経済新聞社 宇都宮支局長	荻谷 直政
47		東京新聞 宇都宮支局長	萩原 誠
48		(株)下野新聞社 代表取締役社長	若菜 英晴
49		(株)日刊工業新聞社 栃木支局長	小野里 裕一
50		(一社)共同通信社 宇都宮支局長	川口 晃
51		(株)時事通信社 宇都宮支局長	都澤 貴征
52		日本放送協会 宇都宮放送局長	黒崎 めぐみ
53		(株)栃木放送 代表取締役社長	黒川 淳
54		日本テレビ放送網(株) 宇都宮支局	清水 彰
55		(株)フジテレビ 宇都宮支局長	佐藤 光秋
56		(株)TBSテレビ 宇都宮支局長	長島 周史
57		(株)テレビ朝日報道局 宇都宮支局長	小平 和英
58		(株)エフエム栃木 代表取締役社長	鈴木 峰雄
59		(株)とちぎテレビ 代表取締役社長	須藤 揮一郎

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会則

第1章 総則

（名称）

第1条 本会は、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

（目的）

第2条 実行委員会は、第77回国民体育大会及び第22回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」という。）を栃木県において開催するために必要な事業を行うことを目的とする。

（事業）

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- （1）両大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること
- （2）両大会における実施競技及び会場地市町村に関すること
- （3）両大会開催に必要な施設・設備の整備に関すること
- （4）両大会開催及び準備に係る経費に関すること
- （5）関係行政機関及び関係機関との連絡調整に関すること
- （6）前各号に掲げるもののほか、両大会の開催に必要な事業に関すること

第2章 組織

（構成）

第4条 実行委員会は、会長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- （1）県及び市町村を代表する者
- （2）県及び市町村の議会を代表する者
- （3）関係競技団体、その他関係機関・団体を代表する者
- （4）前各号に掲げる者のほか大会開催の事業に関係ある者

3 会長及び委員は、無報酬とする。

（役員）

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- （1）会 長 1名
- （2）副 会 長 8名以内
- （3）常任委員 70名以内
- （4）監 事 3名以内

（役員を選任）

第6条 会長は、栃木県知事をもって充てる。

2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て委員のうちから会長が委嘱する。

3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員の仕事)

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、実行委員会の財務を監督する。

(任期等)

第8条 委員及び役員(以下「委員等」という。)の任期は、委嘱されたときから実行委員会の目的が達成され解散するまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(顧問及び参加)

第9条 実行委員会に、顧問及び参加を置くことができる。

2 顧問及び参加は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

4 参加は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参加の任期等について準用する。

6 顧問及び参加は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 実行委員会に、次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 募金・企業協賛推進委員会

(4) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) 両大会の開催に必要な方針に関すること

(2) 会則の制定及び改廃に関すること

(3) 事業計画及び事業報告に関すること

- (4) 予算及び決算に関すること
- (5) 常任委員会及び募金・企業協賛推進委員会に委任する事項に関すること
- (6) その他重要な事項に関すること

5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は、書面で議決に加わることができる。

6 総会の議事は、出席委員（代理人に権限を委任し、又は、書面で議決に加わった者を含む。）の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。

（常任委員会）

第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。

2 委員長は、会長をもって充てる。

3 副委員長は、副会長をもって充てる。

4 常任委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。

6 委員長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。

7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

- (1) 総会から委任された事項に関すること
- (2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任事項に関すること
- (3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること
- (4) その他委員長が必要と認める事項に関すること

8 前条第5項及び第6項の規定は常任委員会について準用する。

9 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

（募金・企業協賛推進委員会）

第13条 募金・企業協賛推進委員会は、会長が委嘱した委員を持って構成する。

2 募金・企業協賛推進委員会に委員長及び副委員長を置き、会長が委嘱する。

3 募金・企業協賛推進委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

5 募金・企業協賛推進委員会は、総会からの委任により、募金・企業協賛の推進に関する事項について審議し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

6 第11条第5項及び第6項の規定は募金・企業協賛推進委員会にて準用する。

7 第8条の規定は、募金・企業協賛推進委員の任期等について準用する。

（専門委員会）

第14条 専門委員会は、会長が委嘱する専門委員をもって構成する。

2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査・審議し、

その結果を常任委員会に報告する。

- 3 前2項に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。
- 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

- 第15条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は、総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 前項の規定により専決処分したときは、会長はこれを次の総会等に報告し、承認を求めなければならない。

第5章 事務局

(事務局)

- 第16条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務

(経費)

- 第17条 実行委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

- 第18条 実行委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

- 第19条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 補則

(委任)

- 第20条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(解散)

- 第21条 実行委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。
- 2 実行委員会が解散するとき有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

附則

- 1 この会則は、準備委員会設立の日（平成 26 年 5 月 19 日）から施行する。
- 2 準備委員会の平成 26 年度における会計年度は、第 18 条第 1 項の規定にかかわらず、前項に定める日から、平成 27 年 3 月 31 日までとする。

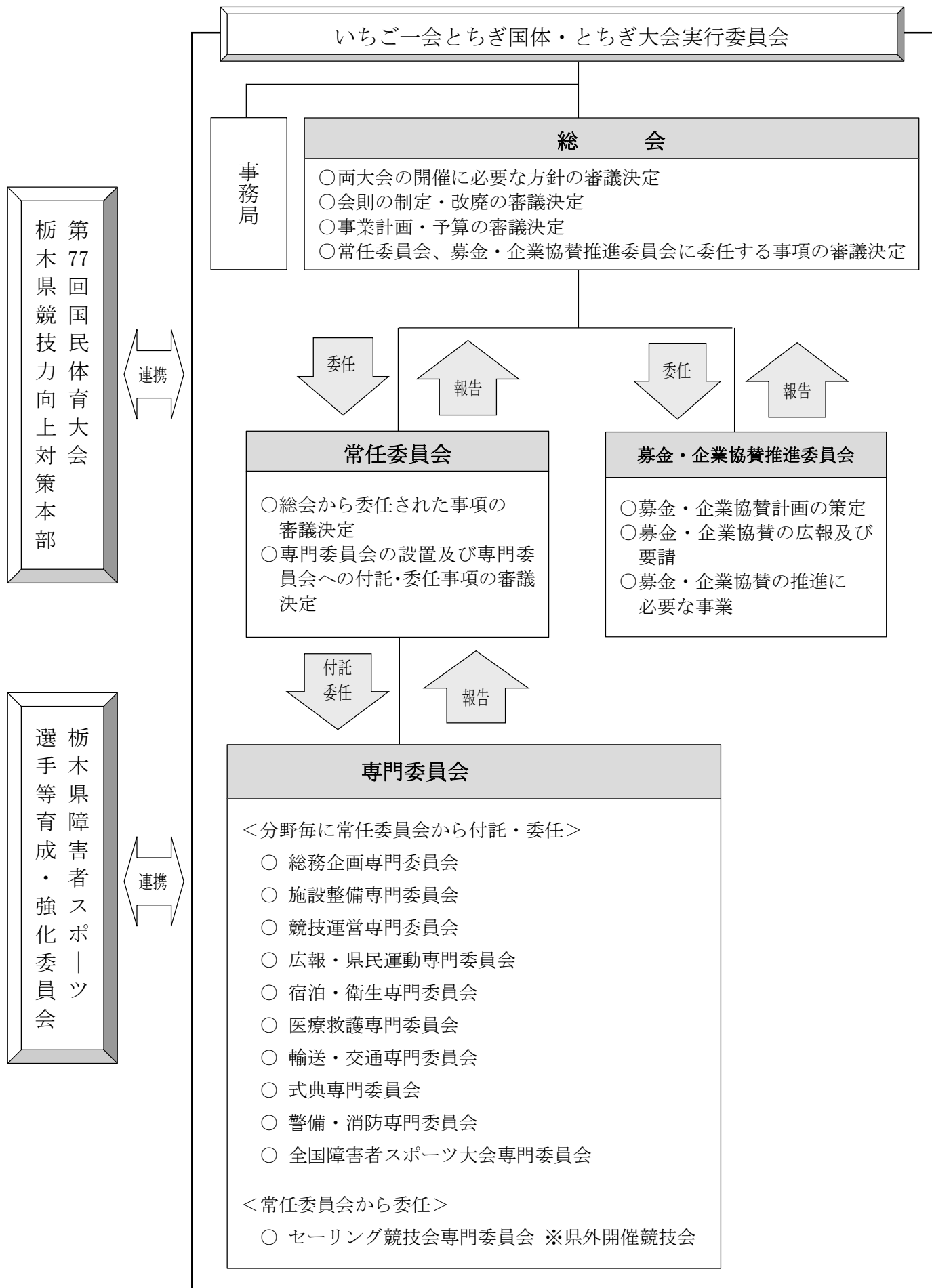
附則

この会則は、平成 28 年 7 月 13 日から施行する。

附則

- 1 この会則は、実行委員会設立の日（令和元年 8 月 5 日）から施行する。
- 2 この会則施行の際、現に第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会の役員、委員、顧問、参与、募金・企業協賛推進委員会委員又は専門委員である者は、それぞれ実行委員会の役員、委員、顧問、参与、募金・企業協賛推進委員会委員又は専門委員に委嘱されたものとみなす。
- 3 この会則施行の際、現に制定されている第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会の方針、計画及び関係規程等中「第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会」とあるのは「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会」と、「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」とあるのは「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」と、「公益財団法人日本体育協会」とあるのは「公益財団法人日本スポーツ協会」と読み替える。
- 4 この会則施行の際、現に制定されている第 22 回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会の方針、計画は、実行委員会の方針、計画とする。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会組織図





いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20

栃木県国体・障害者スポーツ大会局

TEL 028-623-3517 / FAX 028-623-3527

e-mail : somukikaku@pref.tochigi.lg.jp

HP アドレス : <https://www.tochigikokutai2022.jp>
